

事務連絡

平成18年6月23日

都道府県一般廃棄物担当部（局） 御中

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課リサイクル推進室

ペットボトル有償入札に係る収入の市町村への拋出について

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律の施行については、日頃、格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市町村が分別収集し、財団法人日本容器包装リサイクル協会（以下「協会」という。）に引き渡した容器包装廃棄物については、協会が再商品化事業者の入札選定を行い、再商品化を実施してきたところですが、協会は、使用済ペットボトルの市場価値向上と再商品化事業者の入札算定における公平性確保ということを踏まえて、平成18年度分の使用済ペットボトルの再商品化事業者の入札選定から、有償入札を認めることとしました。落札の結果は、有償入札が大半を占め、現時点で約26億円の有償入札による収入が再商品化事業者から協会へ支払われる見込みとなりました。

この有償入札に係る収入については、別途、市町村及び一部事務組合に協会より別添の通知が発出されますので、その旨を貴都道府県管下市町村あて周知されますようお願い申し上げます。

なお、第164回国会で成立した容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律の一部を改正する法律においては、「再商品化のための円滑な引渡し等に係る事項」が基本方針に定める事項として追加されたところですが、今後、この規定を踏まえ、基本方針において、市町村は、収集した使用済ペットボトルを指定法人へ円滑に引き渡すよう努めること等が求められることになることから、その点についても併せて周知をお願い申し上げます。

(別添)

日包り発第 18-87 号

平成 18 年 6 月 23 日

市町村・一部事務組合
一般廃棄物（容器包装リサイクル）ご担当者殿

財団法人日本容器包装リサイクル協会
専務理事 新 宮 昭

PETボトル有償入札に係る収入の市町村への拠出について

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じ上げます。

さて、当協会では、PETボトルに関し、最近の使用済みPETボトルの市場価値向上と再商品化事業者の入札選定における公平性確保ということを踏まえ、平成18年度分の再商品化委託の入札から有償入札（再商品化事業者が当協会へ料金を支払う）を認めることとしました。その結果、平成18年度については、落札は有償入札分が主体となり、現時点では当該有償分の収入が年間約26億円と見込まれます（これに対し、従来通りの逆有償分の金額は約1億円の見込み）。

有償分の収入の取扱いについては、その資金の性格を踏まえ、入札において有償となった特定分別基準適合物を当協会へ引き渡した各市町村に対して、それぞれの落札価格に応じて拠出することが適切との所管省庁の見解であり、当協会としても今後その見解に沿って、下記のように対応してまいりますので、ご連絡申し上げます。

PETボトルの国内リサイクル体制の確保があらためて課題となっている昨今ですが、平成19年度の当協会への引き渡しに関しても参考にさせていただきたくお願いいたします。

敬具

記

1. 有償分に係る収入は市町村に拠出し、従来通りの逆有償分に係る費用および協会経費は特定事業者を負担していただく方針です。
2. 当協会と再商品化事業者との間の料金收受については、有償分についても、再商品化実施料として再商品化実績（契約再商品化率で割戻して引き取り換算）に応じて行います。（従って、市町村の当協会への引き渡しとは時期的に差が生じ、また最終的に金額面でも引き渡し量ベースとは多少の差異が生じます。）
3. 上記の方針であります。有償分に係る収入の市町村への拠出（配分）の詳細計算ルールおよび業務システムにつきましては今後構築するところですので、より詳細には別途あらためて連絡させていただきます。

以上